

匹田軍次名誉教授略歴

略 歴

昭和7年	山形県鶴岡市に生まれる
昭和30年	東京外国語大学第4部（ロシア科）を卒業
昭和34年	文部省図書館員養成所を卒業
昭和34年	東京水産大学図書館に勤務
昭和36年	東京外国語大学図書館に勤務
昭和38年	(株)ナウカに勤務。月刊『ロシア語』誌の編集に従事
昭和41年	現代ロシア語社の創立・運営と月刊『現代ロシア語』誌の編集に従事
昭和52年	モスクワ、プログレス社に勤務、翻訳に従事
昭和57年	札幌大学外国語学部教授（ロシア語学科）
平成15年	同上、定年により退職 名誉教授

業 績

1. 著書・訳書

- 『ロシア語便覧』共著・共編（現代ロシア語社、昭和49年）
- 『ロシア・ソビエトハンドブック』共著（昭和53年、三省堂）
- 『和露小辞典』共著・共編（モスクワ、「ロシア語」出版所、昭和55年）
- 『住んでみたモスクワ』（東京 サイマル出版会 昭和56年）
- 『ニキーチン夫妻と七人の子供』共訳（東京 暮らしの手帖社 昭和58年）
- 『ニキーチンの知育遊び』（東京 暮らしの手帖社 昭和61年）

2. 論文

『指示詞コ・ソ・アについて』雑誌「言語」昭和56年12月号所収（東京 大修館）

3. 授業のためのテキストとして作成したもの

ロシア語学研究A（1994年度）

第1章 ロシア語の発音

第2章 アクセントとイントネーション

第3章 文字としてのロシア語

第4章 文法用語

第5章 単語

第6章 文の構成 はじめに、I 不定人称文、II 普遍人称文、III 無人称文

ロシア語学研究B（1996年度）

第1章 ロシア語の発音

第2章 文字としてのロシア語

第3章 文法用語

第4章 単語の構造

第5章 文法の種々相 その一 性をめぐって、その二 ロシア語の数、その三 形容詞語尾の長短、その四 比較一覧、その五 数詞と名詞の一致・不一致、その六 「ある・いる・」の動詞、その七 集合数詞、その八 いわゆる「定動詞・不定動詞」、その九 挿入語あるいは挿入句あるいは挿入文、その十 ロシア人の姓名、その十一 直接話法と間接話法（未完）

日本人とロシア語（ロシア文化概論のためのテキスト）

1996年度から2002年度まで毎年部分的に加筆訂正しながら6冊を作った。以下は2002年度の内容

1. ロシア語との出会い

2. 翻訳に見る本格的なロシア語理解 馬場佐十郎の世界、二葉亭四迷の世界

3. グレーボフの文法書
4. ロシア語を知る努力のその後
5. ロシア語の語学雑誌
6. 正字法の旧・新

形動詞と副動詞 2002年度2年ロシア語文法の補遺として作成

2度目のロシア語文法 2003年度2年ロシア語文法の補遺として

- 第1の章 ロシア語の文の形
- 第2の章 天秤棒のイメージ
- 第3の章 いわゆる“be 動詞”
- 第4の章 「～にある」の be 動詞
- 第5の章 ロシア語のアクセント
- 第6の章 文のアクセント
- 第7の章 ふたたび文のアクセント
- 第8の章 文法の用語
- 第9の章 ХОРОШО のような副詞
- 第10の章 人称代名詞
- 第11の章 片抜け天秤
- 第12の章 不定人称文
- 第13の章 受身の文
- 第14の章 [未完]

途中読み物を挿入して、文法の練習とした。

1. Детский музыкальный театр, 2. Ярославль, 3. Москва, 4. Немного из истории Москвы.